開成学園排球部ＯＢ会
会報第３２号

１．総務関係報告および活動予定

平成２４年　４月　第３０回開成・麻布定期戦開催（当番校：麻布）
　　☆総合優勝☆　開成（８連覇達成　通算２１勝９敗）
　　５月　年度幹事会開催
　　６月　ＯＢ総会開催
　　８月　会報発行
平成２５年　４月　第３１回開成・麻布定期戦開催（当番校：開成）
　　☆総合優勝☆　開成（９連覇達成　通算２２勝９敗）
　　５月　年度幹事会開催
　　６月　ＯＢ総会開催
　　９月　会報発行

＜平成２５年度　第３１回開成麻布定期戦報告＞（文責：平成２２年卒藤井）

今年度も開成、麻布双方の OB の皆さま方にご協力いただきまして、第３１回開成麻布定期戦が開催されました。麻布高校の体育館改修工事の都合もあり、今年度も去年に引き続き開成高校にて開催される運びとなりました。開成は昨年見事８連覇を達成し、今年も更に連覇を重ねるべく、桜が満開に咲き誇る中、今年で３１回目となった伝統の定期戦に臨みました。

両中学、高校の選手たちがウォーミングアップで身体を温めた後、開会式が行われ、まずは中学戦が行われました。ここ数年レシーブ力を高め、さらに全日本ユースの長身者合宿に参加した大型の選手二人を有する開成にとっては去年、一昨年に引き続き敗北の許されない試合となりました。エースの一人が怪我のため出場出来ないというアクシデントに見舞われた開成でしたが、いざ試合が始まると選手たちは緊張した様子もなく、日々の練習の成果を遺憾なく発揮し第１セットを見事先取しました。２セット目になってもその勢いは変わらず、レシーブ力、スパイク力共に勝る開成が精神的にも落ち着いて堅実なプレーを続け、今年度も見事２－０のストレート勝ちをおさめてくれました。須藤先生、宮先生がいらっしゃってからの徹底したレシーブ力の強化や、佐藤先輩、米内コーチによる指導が確実に開成を強くしていることが感じられる試合でした。これから都大会で強豪校を相手に上位に食い込んでいくためにも、この調子で基本的なプレーの精度をさらに上げることを第一に、高校生に負けぬ大きな声を出して元気に頑張ってほしいなと思います。

中学戦勝利の興奮冷めやらぬ中、続いて超 OB 戦が行われました。３年前の試合から連勝している超 OB 戦で４連勝を目指し、諸先輩方は試合前から気合十分といったご様子でした。試合は両チームの意地と意地がぶつかり合い、文字通りの熱戦となりました。序盤から往年の姿を彷彿とさせる好スパイク・好レシーブが何本も飛び出し、普段９人制バレーを見慣れていない現役達も食い入るように観戦していたようです。両チームともに老練なレシーブで粘りを見せる中、宮先生を中心とした高い攻撃力を誇る開成の前衛が見事な攻撃を見せ、第１セットを奪います。２セット目も一進一退の攻防が続きましたが、あと一歩の粘りで勝った開成が見事第２セットを奪い勝利を飾りました。諸先輩方も内容・結果ともに大満足のご様子で、今後の超 OB 戦のさらなる連勝を期待してしまう素晴らしい試合となりました。

ＯＢ戦は本年度も各学年で声かけをし合うことで、たくさんのメンバーが集まっての試合となりました。卒業直後の OB から社会人となった OB まで、先輩、後輩として共に現役時代を過ごした選手たちが一つのチームとして麻布と相対しました。麻布の OB の人数が少なかったこともあり、終始余裕をもってプレーした開成が麻布を圧倒し、１セット目を取ります。２セット目には１セット目に出ていなかった OB を中心にメンバーを変更しましたが、開成の優位は全く変わらず、危なげなく２セット目を取ることが出来ました。これまで OB 戦を支えていた世代の先輩方が少しずつ減っていく一方で、今後さらに若い OB がこの OB 戦を連勝を支えて行ってくれるのが実に楽しみに思えました。

ここまで開成は中学・超ＯＢ・ＯＢと３連勝、完全優勝の期待も高まる中、最後の高校戦を迎えました。例年５月に控える関東予選上位進出の試金石となるこの麻布戦高校生の部ですが、昨年大

差でストレート勝ちしているだけに、今年度も負けるわけにはいかないと高校生も気合十分の様子でした。徹底した練習量で、基礎能力だけでなくコンビネーションなどのチーム力が大きく向上した高校生は、実力で勝る麻布相手に落ち着いた試合運びを見せてくれました。試合全体を通じて、レシーブが安定し、様々なポジションの選手による攻撃で満遍なく得点を重ねていきます。効果的なブロックも時折見られ、選手内容を変更した第２セットでも危なげなく試合を運び、２－０のストレート勝ちを収めることができました。この勝利に弾みをつけ、コンビ攻撃に磨きをかけつつも５月に迫った関東予選において、念願の関東大会出場を目指し是非とも頑張ってほしいと思います。この勝利を受けて、開成は中学・超ＯＢ・ＯＢ・高校の全４部門全勝で１セットも落とすことなく、定期戦９連覇を果たすことができました。

その後は場所を移して懇親会が行われました。先程まではライバルとして勝利を賭けて熱戦を繰り広げましたが、終了のホイッスルが鳴り響いた後には、数１０年来の良き友の姿がそこにはありました。ＯＢはお酒を飲みながら麻布･開成の同期同士現役時代の思い出を振り返りながら懐かしい話に花を咲かせていたようです。そして一区切りついたところで両校エールの交換を行い、今年の健闘を称え合いつつも来年の再戦を誓いました。

２．平成２５年度役員人事

役員

顧問	栗原　弘	先生
	奥山　茂樹	先生
	宮　利政	先生
	須藤　俊文	先生
名誉顧問	伊藤　清一	先生
相談役	吉村　功	(S26 卒)
	進藤　定夫	(S30 卒)
	石東　晃一	(S34 卒)
	安井　高明	(S37 卒)
	山本　純一	(S38 卒)
	佐藤　勇	(S40 卒)
	結城　教仁	(S43 卒)
	田中　俊一	(S43 卒)
	片野　昭秀	(S44 卒)
会長	桑田　起義	(S45 卒)
会長代行	小川　宗男	(S45 卒)
副会長	矢澤　俊彦	(S48 卒)
	市村幹司郎	(S50 卒)
	関　茂和	(S54 卒)

幹事長	藤井　遼介	(H22 卒)
副幹事長	岡田　健吾	(H24 卒)
会計幹事	田沢　優	(H9 卒)
監査幹事	関　茂和	(S54 卒)
総務幹事	大内　隆成	(H14 卒)
	大橋　尚史	(H18 卒)
	金田　涼佑	(H19 卒)
	山田　淳也	(H19 卒)
	溝口　晃	(H21 卒)
	藤井　遼介	(H22 卒)
	松本　裕太	(H22 卒)
	米内　柾人	(H23 卒)
	小枝　滉斗	(H24 卒)
HP 管理幹事	溝口　晃	(H21 卒)
OB ﾁｰﾑ主将	藤井　遼介	(H22 卒)
高校コーチ	中村　凌大	(H25 卒)
中学コーチ	岡田　健吾	(H24 卒)

年度幹事

24 年～27 年	吉村　功	(26 卒)
29 年～30 年	進藤 定夫	(30 卒)
31 年～32 年	明渡 久和	(31 卒)
34 年	石東 晃一	
35 年	平松 久和	
36 年	三崎 哲郎	
37 年	安井 高明	
38 年	山本 純一	
39 年	鈴木 康之	
40 年	佐藤　勇	
41 年	西山 祐二	
42 年	片野 清昭	
43 年	結城 教仁	
44 年	片野 昭秀	
45 年	小川 宗男	
46 年	西村　隆	
47 年	松田 信彦	
48 年	矢澤 俊彦	

49 年	高塚 義弘	H7 年	依田 秀則
50 年	松下 和正	H8 年	鈴木　周
51 年	上野 雅資	H9 年	宮　利政
52 年	老川 功明	H10 年	川原 希彦
53 年	野口 恭司	H11 年	楓 淳一郎
54 年	関　茂和	H12 年	川原 尊徳
55 年	高浪 孝勝	H13 年	丸崎　玲
56 年	鈴木　章弘	H14 年	勝井 政博
58 年	藤森 光章	H15 年	丹野 敬大
59 年	清水 誠一	H16 年	森 禎三郎
60 年	草野 昌行	H17 年	浅川 洋貴
61 年	津野 泰明	H18 年	梶原　啓
62 年	奈村太久馬	H19 年	金田 涼佑
63 年	和知 敏樹	H20 年	加登 翔太
H1 年	小木曽和宏	H21 年	溝口 晃
H2 年	和里田 聰	H22 年	藤井 遼介
H4 年	神波 泰夫	H23 年	徳田 大輔
H5 年	古野 徳一	H24 年	小枝 滉斗
H6 年	鈴木 大輔	H25 年	中村 凌大

3．予算

平成24年度　収支報告書　　平成24年4月1日～平成25年3月31日

科目		金額	科目		金額
（支出の部）			（収入の部）		
春夏合宿援助費		¥120,000	年会費		¥300,000
現役強化費		¥130,200	受取利息		¥5,319
コーチ交通費補助費		¥30,000			
通信費		¥59,800			
荒川区大会参加費		¥0			
麻布定期戦費		¥25,000			
文房具費		¥10,270			
事務費		¥74,000			
慶弔費		¥17,550			
幹事会費		¥6,360			
送金手数料		¥2,280			
			永峰氏寄付金より繰入		¥100,000
	小計	¥475,460		小計	¥405,319
次年度繰越金		¥4,598,358	前年度繰越金		¥4,668,499
合計		¥5,073,818	合計		¥5,073,818

平成25年度　予算　　平成25年4月1日～平成26年3月31日

科目		金額	科目		金額
（支出の部）			（収入の部）		
春夏合宿援助費		¥120,000	年会費		¥450,000
現役強化費		¥180,000	受取利息		¥5,000
コーチ交通費補助費		¥50,000	永峰氏寄付金より繰入		¥100,000
通信費		¥60,000			
荒川区大会参加費		¥20,000			
麻布定期戦費		¥20,000			
文房具費		¥15,000			
事務費		¥70,000			
慶弔費		¥10,000			
幹事会費		¥5,000			
送金手数料		¥5,000			
	小計	¥555,000		小計	¥555,000
次年度繰越金		¥4,598,358	前年度繰越金		¥4,598,358
合計		¥5,153,358	合計		¥5,153,358

平成24年度　永峰光雄氏寄付金特別会計収支報告書　平成24年4月1日～平成25年3月31日

科目		金額	科目		金額
（支出の部）			（収入の部）		
平成25年度予算に繰入		¥100,000			
	小計	¥100,000	前年度繰越金		¥600,000
次年度繰越金		¥500,000	小計		¥600,000
合計		¥600,000	合計		¥600,000

平成25年度　永峰光雄氏寄付金特別会計予算　平成25年4月1日～平成26年3月31日

科目		金額	科目		金額
（支出の部）			（収入の部）		
平成26年度予算に繰入		¥100,000	前年度繰越金		¥500,000
	小計	¥100,000		小計	¥500,000
次年度繰越金		¥400,000			
合計		¥500,000	合計		¥500,000

会計幹事　田沢　優(平成9年卒)
監査　　関　茂和(昭和54年卒)

OB会費卒業年次別納入状況

平成25年3月末現在

卒業年次	会員数	物故	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降
昭和24年卒	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和25年卒	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和26年卒	5		5	5	5	5	4	4	4	3	4	5	5	4	4	3	4	2	2					
昭和27年卒	4	1	4	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
昭和28年卒	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和29年卒	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0							
昭和30年卒	9	2	6	6	6	6	4	5	5	5	4	4	3	3	2	3	4	3	1					
昭和31年卒	6	1	5	5	5	5	4	4	4	4	3	2	3	3	3	4	4	3	2					
昭和32年卒	2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和33年卒	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和34年卒	5	1	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	1	1	1							
昭和35年卒	6		4	5	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3	4	2						
昭和36年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	3	2	3	1	1	1	1	1		
昭和37年卒	4		3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1					
昭和38年卒	8	1	5	5	3	5	5	5	5	4	5	5	4	6	5	4	4	4	1	1	1			
昭和39年卒	8	1	3	4	3	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1						
昭和40年卒	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
昭和41年卒	4		1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
昭和42年卒	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
昭和43年卒	12	1	7	6	4	5	5	6	7	7	7	8	7	8	7	7	7	3						
昭和44年卒	3		1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1						
昭和45年卒	8		5	6	6	6	5	6	6	6	7	7	7	6	8	8	8	4	1	1				
昭和46年卒	12		6	6	4	3	2	3	5	3	3	4	4	3	4	4	5	3	2					
昭和47年卒	11		4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	0	1	1	2	3	3	1					
昭和48年卒	4		2	3	3	3	2	2	3	3	3	4	4	3	3	3	2	2	1	1				
昭和49年卒	19		15	16	9	13	13	12	17	15	11	13	11	9	11	10	12	7	4	1				
昭和50年卒	7	1	4	3	3	4	4	4	4	3	4	3	3	3	2	2	2							
昭和51年卒	3		1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1					
昭和52年卒	7		4	4	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	2	2	1	1					
昭和53年卒	10		2	2	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	3	4	2	1					
昭和54年卒	8		8	7	3	3	4	4	5	7	5	4	3	4	6	7	7	3	1	1	1			
昭和55年卒	12	1	4	5	6	5	5	5	5	4	5	5	4	4	4	4	4	4	1					
昭和56年卒	6	1	6	5	5	4	2	4	3	2	3	2	2	2	1	1	1							
昭和57年卒	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和58年卒	9	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1				
昭和59年卒	8		2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	3	2	2	3	3	1						
昭和60年卒	7		5	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1					
昭和61年卒	10		4	4	4	3	3	2	3	2	1	1	1	2	2	4	5	5	1					
昭和62年卒	6		3	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	1	1	0							
昭和63年卒	10		4	4	4	4	4	2	3	2	3	3	2	1	1	0	0							
平成1年卒	6		1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0							
平成2年卒	12		3	2	0	0	1	1	1	2	2	1	1	1	0	0	0							
平成3年卒	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
平成4年卒	8		2	3	3	3	4	5	3	3	3	2	1	1	1	2	2	2	1					
平成5年卒	10		2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1				
平成6年卒	14		14	4	3	2	3	4	5	5	5	5	5	3	2	2	1	1	1	1	1	1		
平成7年卒	9		9	9	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1						
平成8年卒	11		11	11	11	2	2	3	3	3	2	3	2	3	3	3	2	2	1	1	1	1		
平成9年卒	13		13	13	13	13	4	4	4	5	5	4	3	3	6	8	7	4	2					
平成10年卒	13		13	13	13	13	13	2	2	2	3	4	3	3	4	3	3							
平成11年卒	9		0	9	9	9	9	9	2	2	2	3	4	4	4	5	4	3						
平成12年卒	11		0	0	11	11	11	11	11	1	2	2	2	2	3	3	3	1						
平成13年卒	11		0	0	0	11	11	11	11	11	3	4	4	4	5	4	3	1						
平成14年卒	9		0	0	0	0	8	8	8	8	8	2	2	3	4	4	3	3	2	1	1	1	1	1 (H41まで)
平成15年卒	12		0	0	0	0	0	7	7	7	7	7	1	0	0	0	0	0						
平成16年卒	5			0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0						
平成17年卒	3				0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	1	1	0	0						
平成18年卒	7					0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	2	1	1						
平成19年卒	9					0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	0							
平成20年卒	4												4	4	4	4	4	1						
平成21年卒	4													4	4	4	4	4						
平成22年卒	5														5	5	5	5	5					
平成23年卒	8															8	8	8	8	8				
平成24年卒	8																8	8	8	8	8			
平成25年卒	6																	6	6	6	6	6		
平成26年卒																								
平成27年卒																								
合計	457	16	199	199	172	176	169	171	175	152	152	156	145	137	142	143	138	82	35	11	6	4	1	

４．中学戦績（文責：中学生）

コーチ挨拶

最初に春合宿でこの代を見たときには都大会に行くのがギリギリだろうと思いました。長身者が二人（中島、福田）いるもののそれほどバレーが上手いわけでもなく、他の面々も体格的に恵まれておらず、上を目指すのは難しいと感じられました。また、その後まだ上の代が残っている時期に見た試合でも、当時中 3（現高 1）の先輩に頼るばかりで、試合に出ている選手も緊張感がなく、長身のアタッカー二人に覇気が感じられませんでした。

しかし、現在では荒川区で試合に負けることはなく、ブロック大会 1 位リーグにも進出するほどの実力があります。

その理由の一つとしてレシーブ力の強化があげられます。須藤先生のご指導の下でフォームから徹底的に身につけていきま した。短距離からの手投げのボールを面に当てる練習から、長距離のサーブに対応する練習までフォーム、ステップを意識させながら繰り返し行うことで実戦において役に立つレシーブ力が付きました。レシーブ練習は中学生にとって地味でつまらない練習ですが、いろいろなパターンを織り交ぜていたので本人たちも飽きることなく練習に取り組んでいたように思います。

もう一つの理由として、エース以外の成長ということが挙げられます。福田、中島両エースは全日本ユースの長身者合宿にも参加するほどの実力を行けましたが、試合においては今一つその実力が発揮できずにいました。また、代替わり当初、エースの二人以外はスパイクを打つことができず、オープントスを上げることもままなりま せんでした。しかし、新人戦が終わり、年が明けるころにはその二人以外もスパイクを打てるようになり、今ではそれぞれが攻撃を担う要員として活躍できるようになってきたことで、攻撃のバリエーションが増え、結果的にエースの実力も発揮されるようになってきました。

これらの成長は、選手たちの目的意識を持った練習と、須藤先生の熱心なご指導によるものです。春季大会では惜しくも二回戦敗退となってしまいましたが、今回の大会で課題がいくつか見えてきました。これからあと二か月それらの課題に焦点を絞って練習を重ね、次回の夏季大会ではベスト８進出、さらに関東大会進出を目指して頑張っていきたいと思いますので、是非ご声援のほどよろしくお願いします。

（文責：H23 卒　米内）

夏期都大会 7/22

一回戦の駒場東邦には先攻されるも徐々に皆復調しフルセット勝利。（19－25、25－22、25－16）二回戦の第三亀戸は第一セット 23－17 とリードしたものの、レセプションが乱れ逆転負け。

第二セットも持って行かれ無念の敗退。（25－23、25－22）

私学大会 8/24

エースの桃井が怪我をし万全ではなかったが、１年（当時）の今川を投入し乗り切った。一回戦の攻玉社は圧勝。二回戦の日大豊山はブロックが悪く、敗退。

新人戦区大会 10/7

諏訪台、尾久八幡には危なげなく勝利。

荒川五にはフルセット、荒川四にはジュースとなったもののいずれも福田、中島の二枚のエースが踏ん張り、セッター内藤のサーブが光り、無事勝利して、見事全勝優勝。

新人戦ブロック大会 10/14

足立十一にまさかのフルセット負け（25－20、19－25、24－26）を喫するも、千住桜堤にストレート勝ち。（25－16、25－21）ここで、足立十一が千住桜堤にストレート負けし、決勝リーグをかけ浅草と対戦。フルセットで勝利（25－21、20－25、25－18）し、コート決勝へ。と同時に都大会出場決定。

ブロック決勝 10/21

蒲原には一セット目圧勝し、二セット目も逃げ切り勝利（25－9、25－21）。都大会四強の渕江には圧倒され完敗。（6－25、7－25）。都大会八強の足立九にはこちらの疲れも見え、一セット目を持って行かれたものの、二セット目善戦した。しかし敗北。（8－25、19－25）

都大会新人戦 11/18。試合前の練習で福田が怪我をしたが、菅家を投入しその穴をカバー。明大中野にはフルセットにはなったが勝利。（25－21、20－25、25－12）二回戦の増戸は福田を復活させ臨んだもののレシ

ーブが安定せず敗退。（21－25、16－25）なお福田と中島が東京都強化選手に選ばれる。

学芸大学杯 12/16
武蔵野第二、豊春、桐朋、学大竹早とのリーグ戦。優勝が予想されたが、トスとスパイクが噛み合わず三位に終わる。

六校リーグ 2/19
福田、中島が中学全日本のため、また、今川が体調不良のため不在となり、６人中レギュラーが３人という事態に。暁星、慶応にはまともにバレーができず敗北。五位決定戦に臨むことに。しかしここで福田、中島が合流。学習院を圧倒し五位となる。ちなみに、内藤が優秀選手を受賞。

一年生大会
中１（当時）が初めて試合に出場。
渕江、東綾瀬、蒲原と対戦。渕江、蒲原には敗北。東綾瀬には勝利したものの、セット率で最下位となってしまった。

開成麻布定期戦 4/7
福田がまたも怪我のため離脱したものの、中１、中２ともに危なげなく麻布を下す。開成は全ての試合で勝利。

春期区大会 4/21
福田が回復せず、再び菅家を投入。
トーナメント形式になり、まずは荒川四と対戦。相手はまともなスパイクも打てず、新人戦とは打って変わって大勝。荒川五との決勝では中島のバックアタック、菅家のブロックが冴えて無事勝利。
先代から続けて荒川区四連覇。

ブロック大会 4/29
ここでも福田はフルに動けず、菅家と交代しながら出場。御徒町台東には危なげなく勝利したものの、ラリー戦を挑んできた浅草に対してミスが目立ち敗北。しかし都大会出場をかけて戦った諏訪台には無事勝利し、都大会を決めた。

春期都大会 5/19
上位進出を目指し、一回戦麻布と対戦する予定。

文責：中学主将福田直也

５．高校戦績（文責：高校３年　上原）

コーチ挨拶

昨年度高校コーチを務めさせていただいた小枝です。
初めてこの代を見た際、一番初めに思ったのは良くも悪くも「まとまった」チームであるな、ということでした。個々人のレシーブ、スパイクなどの技量も初期からそれなりに安定していて、なによりも「バレー慣れ」しているプレイヤーがかなり多い一方で、試合の大事な局面でパンチの利いたプレイをいまいち出し切れない、小さくまとまってしまった勝負弱さのようなものを感じました。実際に試合を見てみても、総合力で勝っている相手には確実に勝利するのに対し、格上の高校を相手にするとその力量差がずるずると出てしまい結局負けてしまうというように、チームとして爆発力に欠けた面があったように思います。
またこのチームの特徴として、「選手層の厚さ」というものがあげられるかと思います。試合のある一瞬において実際にプレイをすることができる選手は６名ですが、選手登録が可能な人数は 14 名、つまり８名は控え選手なわけです。この代のチームにおいては、この控え 8 名の選手全員が自身の長所を持っていて、いつでもレギュラーメンバーと交代してチームを支えることができる、というような選手層の厚さがありました。レギュラーメンバーも半分は後輩で構成されていて、力量的な下からの突き上げも盛んなチームでした。代の中での横方向の選手層の厚さ、そして先輩後輩という縦方向の選手層の厚さ、その両方があったように思います。夏、秋までは個々人の技量、総合力強化、冬以降は厚い選手層をどのように組み合わせ、チームとして機能させていくか、といったコンセプトで練習を重ねました。「僕はピンチサーバーとしていつ使われてもいいように、サーブとレシーブを練習する」「スパイクは強いけどレシーブはあんまりな先輩とメンバーチェンジがあるかもしれないから、安定したプレイができる選手になろう」というように、個々人がチームの中での立ち位置を意識していたチームだったように思います。冬以降、縦方向、横方向の選手層の厚さを生かしていくために、「賢い」バレーを目指しました。フェイントの使いどころやサーブの狙いどころ、セッターのトス回しなど、宮先生の豊富な知識を現役が吸収し、それを試合の中でいかに発揮していくか、ということが課題となりました。強豪校に勝ち、関東予選で上位に食い込むためには、体格というハンデを賢さや技量で埋めていく必要がありました。
高 3 の引退試合では体格で圧倒的に劣る東海大菅生高校を相手に、「賢い」バレーで相手の虚をつきリードを奪うものの惜しくも届かず、敗北を喫しました。高 3 は惜しくも関東大会出場ならず、という結果で引退しましたが、先ほども書いた通り、宮先生の熱心なご指導のおかげで、ここ数年の縦方向の選手層の厚さは目を見張るものがあります。先輩が引退しても一緒にプレイしていた後輩たちが残り、今度はその後輩たちがチームを作っていく、というようにして、部活としての強さが引き継がれていくのだと思います。来年以降も後輩たちが先輩の志を継いでバレーをしていくことと思います。是非ご声援のほどよろしくお願いします。

文責　H24 卒　小枝

インターハイ予選　6/10
第一試合都立武蔵に 2-0 で勝利。第二試合都立城東に 0-2 で敗れたが、セット率の関係でコート決勝に進み、再度都立城東と戦うも 1-2 で敗北。新チームとして初めての公式戦で相手の引退がかかった高 3 の勢いに押されてしまった。

全日本選手権１日目　8/23
1 回戦は都立日野台で格下だったが油断して接戦になるも 2-1 でなんとか勝利。2 回戦は都立富士。相手のエース不在という幸運もあり、ブロックが機能し 2-0 で勝利。

全日本選手権２日目　9/17
城北は高 3 だったが、フェイントをうまく使い相手をかき乱し 2-1（25-19、17-25、25-17）で勝利。見事ベスト 16 進出。しかし都ベスト８の東海大菅生には 0-2（14-25、13-25）で完敗。

新人大会１日目　11/11
岩倉、日野台にしっかりと勝ち、コート決勝で再度日野台と戦うも 2-0 で勝ちきり２日目進出。

新人大会２日目　11/23
1 試合目は長身 1 人エースの国分寺。1 セット目はそのエースに苦戦しおとしたが、2 セット目ブロックが決まりだしこのセットを取り返し、最終 3 セット目はシーソーゲームを制し、2-1（16-25、25-19、25-22）で勝利。都ベスト８の高輪には 0-2（13-25、19-25）で完敗。

新人決勝大会
秋留台拝島に 2-0（25-8、25-20）でしっかりと勝利した。足立新田にはブロック、スパイクで得点をかさねていったが 0-2（20-25、23-25）と僅差で敗北。そして東京成徳との試合ではレフトの足がつるという事もあり 1-2（18-25、25-14、21-25）で敗北し、ベスト 16 のシード権をおとしてしまう。

関東予選 1 日目　4/21
東大和、日比谷、関東国際に危なげなく勝利。

関東予選 2 日目　4/28
初戦は専修大付属で、相手のエースが不在ということもあり 2-0（25-18、25-19）で勝利。そして東海大菅生、相手はセンターからの攻撃を中心に攻めてくるチームで、1 セット目は序盤大きくリードされるがブロックで流れを引き戻すもののあと一歩及ばず、2 セット目は中盤まではリードする展開だったが、終盤にひきはなされ 0-2（21-25、22-25）で敗北。高 3 の引退試合となった。

私学関東大会（夏）
千葉県の敬愛大八日市場に 0-2 で敗北。法政大学に 0-2 で敗北。桐光学園に 2-0 で勝利。相手は高 3 で新チームとしていい経験ができました。

私学関東大会（冬）
埼玉県の昌平高校に 0-2 で敗北。神奈川県の東海大相模高校には高いブロックに圧倒され 0-2 で敗北。センターセッターという不慣れなフォーメーションだったので、動きがかたく、ミスが多かった。

麻布定期戦（高校）
1 セット目は開成がサーブでくずしセットを取る。2 セット目はシーソーゲームとなるが 25-23 で開成がセットを取り、2-0 で勝利。2 セット目は特にぜったい負けないという強い気持ちのこもったいいゲームでした。

６．近況報告(敬称略)

・毎日が快適です。バレー部のますますのご活躍をお祈りしております。(伊藤清一先生)
・S27.岡部君の寄稿を読み、排球部創設のころを思い出しております。(S25 大瀧)
・あちこち悪いところだらけですがどうにか無事過ごしています。(S30 進藤)
・週三日、小児科、外来診療、乳児健診を何とかこなしています。(S30 寺嶋)
・週に2～3日病院通いしてますが、それなりに元気にやってます。(S38 芥川)
・着かず離れずで距離をおいて付き合ってきた町内会でとうとう役員が回って来て、行事等の日程が加わってしまいました。(S38 玉田)
・元気にやっております。仕事忙しいです。(S39　宮崎)
・週３日のパート勤務をしています。ジョギング、ゴルフと身体を動かしていますが、指の故障でバレーが出来ないのが残念です。(S42 片野)
・定年退職後３年目、現役の活躍を見たり聞いたりし元気をもらっています。(S43 片野)
・一昨年還暦を迎えましたが、三菱商事で現役です。仕事は国内・海外での街づくりを中心に開発建設本部と子会社のエム・シー・アーキテクツを兼務しています。三菱商事でもバレー部に属し、ＯＢ会の副会長でもあり、６月２９日（土）も三菱商事バレー部ＯＢ会が開催され開成の総会は残念ながら欠席させていただきました。尚現在頸椎症でバレーはもちろんゴルフも自粛しています。バレーは女子三冠王の久光製薬の中田監督を応援方々観戦しています。開成の現役の応援になかなか行けなくてすみません。(S45　浜)
・還暦も昨年過ぎましたが，相変わらず変わらぬ日々をバレーボールと共に過ごしております．関東大学春季リーグが終了し，ほっと一息ついています．リーグでは男子が三部１０位，女子が二部５位と残念な結果でした．定年まで四年あまり，何とか一部リーグに昇格できればと頑張っております．夏までに，東日本インカレ，国体予選，クラブカップ，天皇杯・皇后杯県予選，県大学リーグ戦等々，多くの試合が待っています。(S46　柳)
・昨年還暦を迎え、仕事も絞りつつあります。ただ、専門にしている子ども家庭福祉・保育のシステムが大きく変わる段階にあり、国や地方自治体の審議会等に注力せざるを得ない状況がしばらく続きます。庵を結ぶのは、まだ少し先になりそうです。(S46　柏女)
・今年は釣りが好調です。(S46 稲垣)
・2001 年 6 月、開成高校バレー部が関東大会に出場した時に、対戦相手の日立一高チームにいた私の息子が、今年結婚しました。あの試合の最終局面でワンポイントブロッカーとして登場した息子が開成のスパイクをシャットアウトしてマッチポイントを取る、というオイシイ場面を観客席から見ていました。(S47 後閑)
・４月末に福岡から戻りました(S49　柏女)
・昨年 OB 総会に何十年ぶりかに参加させていただきました。当初緊張しましたが、懐かしい方々とお目にかかれて嬉しかった思いがあります。(S54　興村)
・異次元緩和は大変です。(S59 石賀)
・現在アメリカに家族で住んでおります。(S61 阿部)
・ドイツでの研修を終え、昨年９月に帰国いたしました。以来、色々と働かされておりなかなか研究の成果を公表できず、はがゆい思いをしております。(H4 北村)
・アメリカでしばらく仕事します。(H14　大内)
・川崎の病院で働いております。(H16　森　禎三郎)
・聖路加国際病院に勤務しております。(H17　荒田)
・東京大学農学部細胞生化学研究室にて実験に明け暮れております。 来年から大学院に進学する予定です。(H22　藤井)
・無事就職が決まり、来年からの新社会人生活に向けて最後の大学生活を満喫しています。今後も時間を作って OB 会に参加していくつもりです。(H22　松本)
・東京大学２年に進学し、大学でもバレーボールを続けています。(H23　米内)
・コーチとしての一年を終え、今後は一 OB として OB 会に貢献出来ればと思います。(H23　小枝)

※1月3日現役・OB合同練習会のお知らせ

来年2014年1月3日に、開成高校体育館にてOB,現役合同での練習会を予定しております。午前を練習、午後から試合を行う予定ですので、皆さまふるってご参加ください。

※開成バレー部ＯＢ会のＨＰ

現役の試合日程・試合結果などもどんどん更新していく予定です。またこれまでに引き続きＯＢの方同士の情報交換には、併設されている掲示板をご利用いただけます。
以下アドレスを添付しておきますので、お手すきの際には是非ともチェックしてみてください。

開成バレー部ＯＢ会ホームページ：http://kaiseivolleyball.Web.fc2.com/

開成学園排球部ＯＢ会会報第３２号
発行：平成２５年９月
執筆：関（Ｓ５４）、藤井(Ｈ２２)、
松本（Ｈ２２）、岡田(Ｈ２４)